

SONY

## ポータブルラジオレコーダー かんたんスタートガイド



ICZ-R100

4-488-537-02(1)

© 2014 Sony Corporation Printed in China

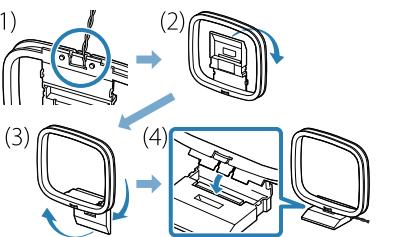


### はじめに

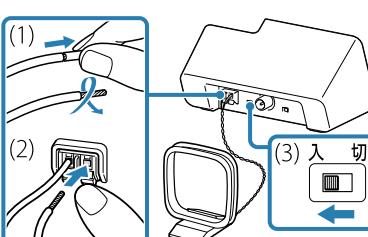
本書はポータブルラジオレコーダーをはじめてお使いになるときに必要な準備や基本的な操作方法などを説明しています。その他機能の説明や、詳しい操作方法は、別冊の取扱説明書またはヘルプガイド(<http://rd1.sony.net/help/icd/iczr100/jp/>)をご覧ください。

### 準備する

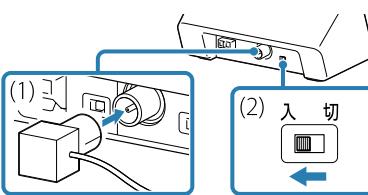
#### 接続する



- (1) 付属のAMラジオ用ループアンテナを組み立てる。  
(1) アンテナコードをフックからはずし、図(1)の位置まで伸ばす。  
(2) 台座を倒す。  
(3) 図の位置で折り曲げて、さらに前方に回転させる。  
(4) フレームの突起部を台座の溝にはめ込む。



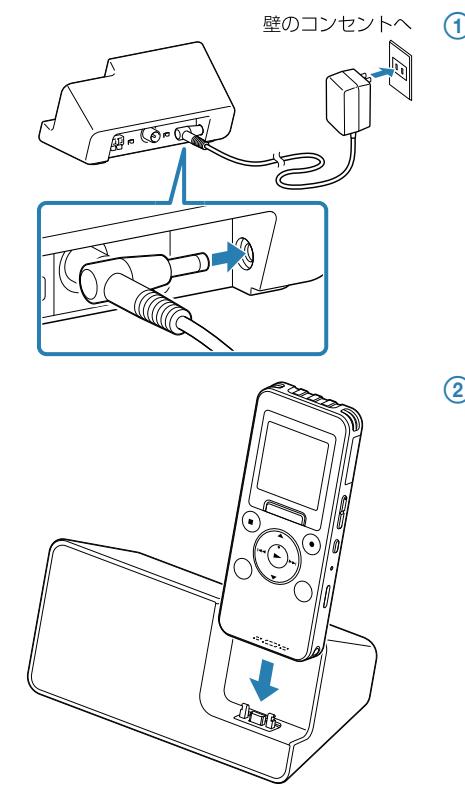
- (2) 組み立てたAMラジオ用ループアンテナを付属のスピーカークレードルに接続する。  
(1)コード先端部の被覆を取って、先端をよじる。  
(2)AM外部アンテナ接続端子のレバーを押しながらアンテナコードを接続する。  
(3)AM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」にする。



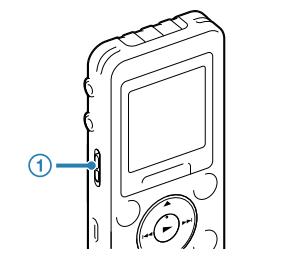
- (3) 付属のFMラジオ用アンテナケーブルをスピーカークレードルに接続する。  
(1)アンテナケーブルを接続する。  
(2)FM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」にする。

### 準備する(つづき)

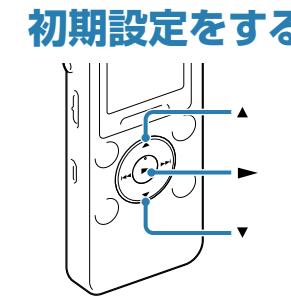
#### 充電する



#### 電源を入れる



- ① 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせる。



お買い上げのあと、はじめて電源を入れたときや時計が設定されていない場合、「時計を設定してください」と表示されます。

#### 電池を充電後すぐに時計を合わせる

- ① ▲または▼を押して年の数字を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
同じ操作を繰り返し、月、日、時、分の順に設定します。  
戻る/ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。  
「分」の数字を選んだあと、▶(再生/決定)ボタンを押すと、時計設定確認画面が表示されます。
- ② ▲または▼を押して「次へ」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
時計設定が完了し、続いて「操作音を使用しますか?」と表示されます。

#### 操作音を設定する

- ▲または▼を押して「はい」または「いいえ」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
設定が完了すると、「ラジオ受信する地域を設定してください」と表示されます。

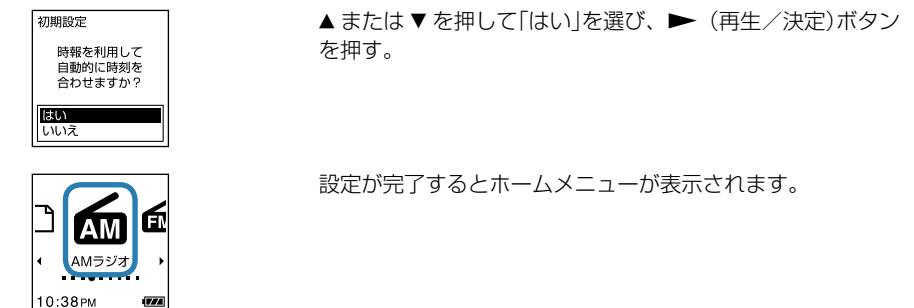
#### 現在いる地域を設定する

現在いる地域を設定すると、ラジオの放送局を自動でプリセット登録することができます。

- ▲または▼を押して、地域を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
地域が設定されると、「時報を利用して自動的に時刻を合わせますか?」と表示されます。



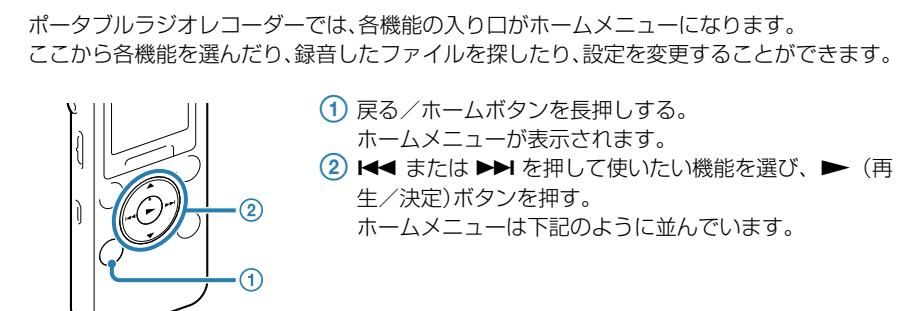
#### 自動時刻補正を設定する



設定が完了するとホームメニューが表示されます。

- ▲または▼を押して「はい」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
●それぞれの手順の間を1分以上あけると、初期設定の中止確認画面が表示されます。その画面では「はい」を選択、さらに1分間放置すると初期設定画面を終了します。  
●一度設定した初期設定項目をあとから変更することができます。詳しい操作方法は、取扱説明書の「設定を変更する」の中の「各種設定メニューの使いかた」をご覧ください。

#### ホームメニューで使いたい機能を選ぶ



- ① 戻る/ホームボタンを長押しする。  
ホームメニューが表示されます。
  - ② ▲または▶を押して使いたい機能を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
ホームメニューは下記のように並んでいます。
- |          |         |
|----------|---------|
| AM       | FM      |
| AMラジオ    | FMラジオ   |
| XX画面へ    | 各種設定    |
| 音楽       | オーディオ入力 |
| 録音したファイル | マイク録音   |
| ポッドキャスト  | XX画面へ*  |
| ミュージック   | XX画面へ*  |
| AMラジオ    | XX画面へ*  |
| FMラジオ    | XX画面へ*  |
| マイク録音    | XX画面へ*  |
| オーディオ入力  | XX画面へ*  |
| 各種設定     | XX画面へ*  |
| XX画面へ*   | XX画面へ*  |
- \*XXには、現在使用している機能が表示されます。

#### オプションメニューで設定する

オプション/録音済ファイルボタンを押すと、ポータブルラジオレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

- ① ホームメニューで機能を選んだあと、オプション/録音済ファイルボタンを押す。  
使用している機能のオプションメニューが表示されます。

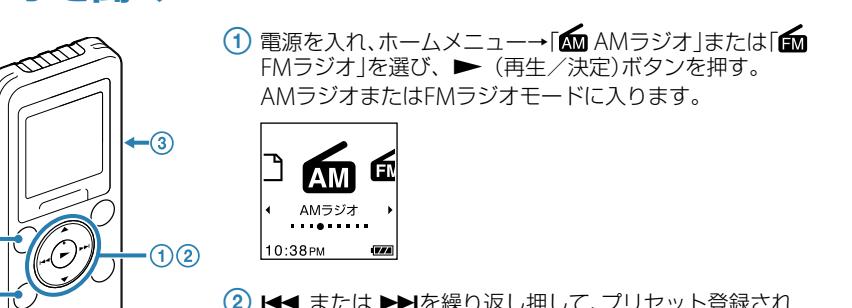
- ② ▲または▼を押して、設定したい項目を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

- ③ ▲または▼を押して、設定内容を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

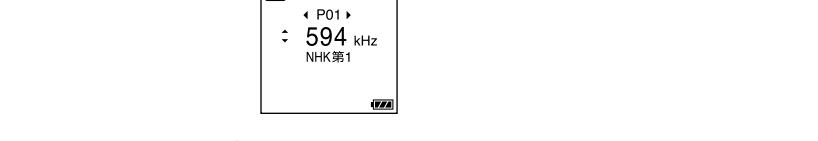
- ▲ヒント  
●■停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。  
●使用している機能によって、表示されるオプションメニューが異なります。各機能の設定項目について、詳しくは、取扱説明書の「設定を変更する」の中の「オプションメニュー項目一覧」をご覧ください。

### ラジオを楽しむ

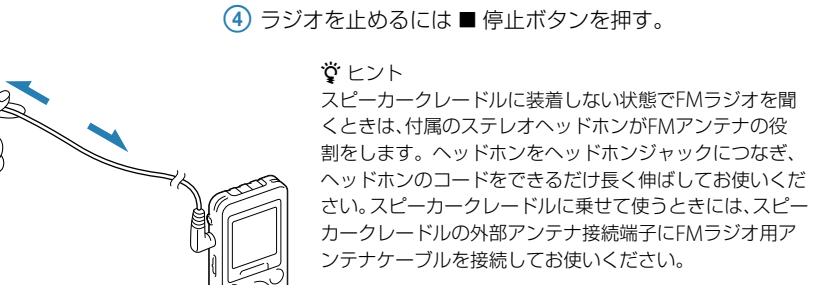
#### ラジオを聞く



- ① 電源を入れ、ホームメニュー→「AM AMラジオ」または「FM FMラジオ」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
AMラジオまたはFMラジオモードに入ります。



- ② ▲または▶を繰り返し押して、プリセット登録している放送局から選局する(プリセット選局)。



- ③ 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

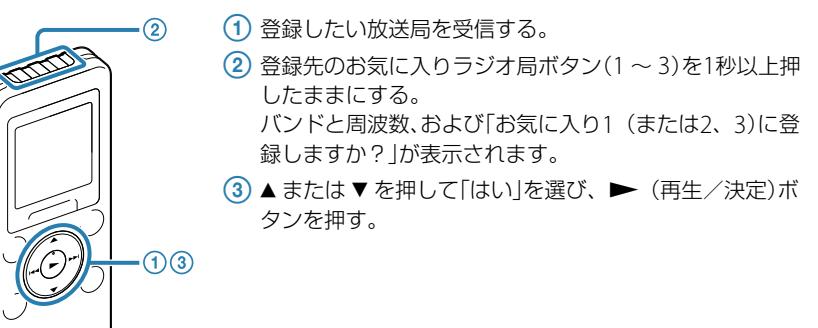
- ④ ラジオを止めるには ■停止ボタンを押す。

- ▲ヒント  
スピーカークレードルに装着しない状態でFMラジオを聞くときは、付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をします。ヘッドホンをヘッドホンジャックにつなぎ、ヘッドホンのコードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。スピーカークレードルに乗せて使うときは、スピーカークレードルの外部アンテナ接続端子にFMラジオ用アンテナケーブルを接続してお使いください。

#### お気に入りラジオ局を使う

よく聞く放送局はお気に入りラジオ局ボタンに登録すると、ワンタッチで選局することができます。3つのお気に入りラジオ局ボタンにそれぞれ1つずつ放送局を登録できます。

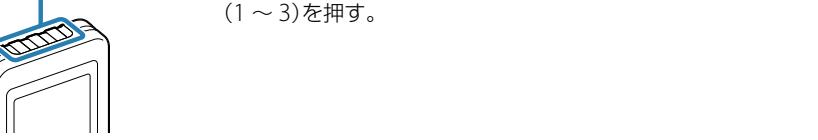
##### お気に入りラジオ局を登録する



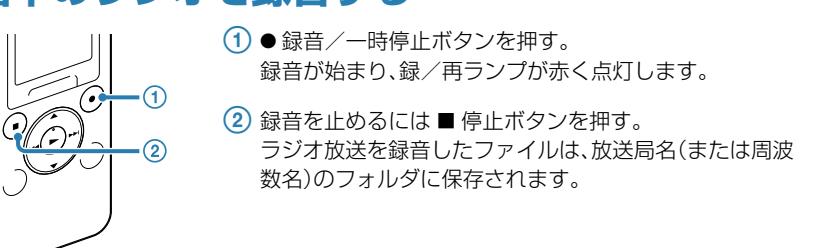
- ① 登録したい放送局を受信する。
- ② 登録先のお気に入りラジオ局ボタン(1~3)を1秒以上押したままにする。  
バンドと周波数、および「お気に入り1(または2、3)に登録しますか?」が表示されます。
- ③ ▲または▼を押して「はい」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

##### お気に入りラジオ局を聞く

お気に入りラジオ局ボタン 聞きたい放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタン(1~3)を押す。



##### 受信中のラジオを録音する



- ① ●録音/一時停止ボタンを押す。  
録音が始まると、録/再ランプが赤く点灯します。

- ② 録音を止めるには ■停止ボタンを押す。  
ラジオ放送を録音したファイルは、放送局名(または周波数名)のフォルダに保存されます。

#### ラジオを予約して録音する



- ① 録音予約する放送局が受信できることを確認する。

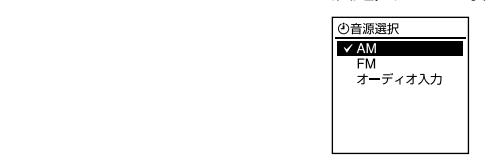
- ▲ヒント  
実際に予約録音を行う場所で、正しく受信できることをあらかじめ確認ください。受信できない場合は、裏面の「ラジオをクリアに受信するにはアンテナが大切!」をご覧ください。
- ② 予約ボタンを押す。
  - ③ ▲または▼を押して「録音予約」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。



- ④ 録音予約したい日時、時刻を設定する。  
▲または▼を押して、下のいずれかを選び、▶(再生/決定)ボタンを押します。

- 「曜日設定」を選んだ場合：  
▲▼◀▶▶▶▶と▶(再生/決定)ボタンでお好みの曜日をチェックしたあと、「次へ」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押して時刻設定画面に進みます。  
▲または▼で開始時刻および終了時刻を設定し、▶(再生/決定)ボタンを押します。
- 「毎日」を選んだ場合：  
▲または▼で開始時刻および終了時刻を設定し、▶(再生/決定)ボタンを押します。

- ⑤ 録音予約したい放送局を選択。  
▲、▼を押して「AM」または「FM」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押します。



- ▲または▼を押してお好みの放送局選び、▶(再生/決定)ボタンを押します。



- ⑥ ▶(再生/決定)ボタンを押して、録音先のフォルダの「自動分類」を選択。



録音するファイルは自動的に放送局名のフォルダに保存されます。

- ▲ヒント  
自動分類、手動分類については、取扱説明書の「録音予約する」をご覧ください。

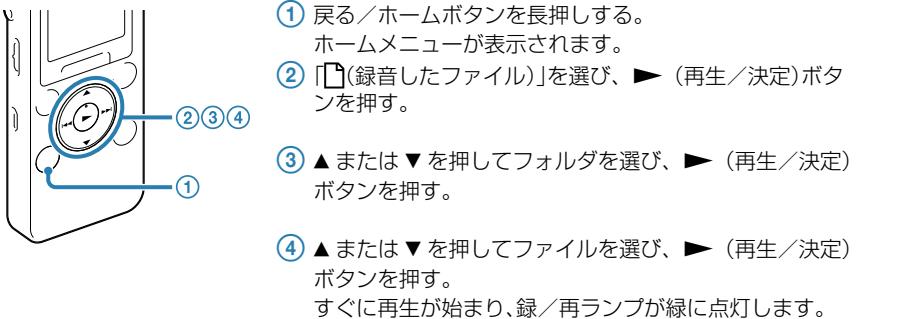
- ⑦ ▲または▼を押して録音モードを選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。



- ⑦ ▲または▼を押して録音モードを選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。  
メッセージが表示され、元の画面に戻ります。

- ▲ヒント  
●電源を切っていても、設定した録音予約は実行されます。  
●パソコンと接続している場合、録音予約は実行されません。

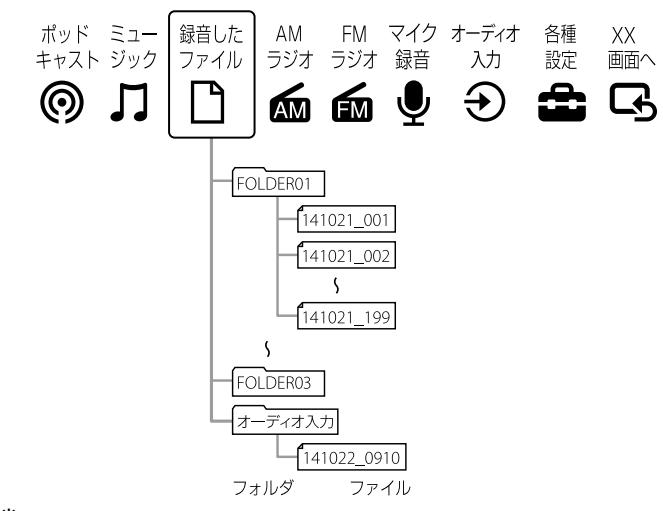
## 録音したラジオを再生する



## フォルダとファイルについて

ポータブルラジオレコーダーで録音した音声ファイルは、フォルダに保存されます。初期設定で、下記のフォルダが自動的に作成されます。

「FOLDER01」～「FOLDER03」：マイク録音したファイルが保存されます。  
「オーディオ入力」：マイクジャックにつないだ外部機器から録音したファイルが保存されます。



**ヒント**  
・ラジオ放送を録音する場合は、録音ファイルの保存先フォルダは自動的に作成されます。録音予約の自動分類と同様に放送局名や周波数を含んだフォルダ名になります。すでに同名のフォルダが存在する場合はそのフォルダ内に保存されます。  
・ポータブルラジオレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。変更のしかたについて、詳しくは取扱説明書の「準備する」の「準備6：お使いになる前に—基本操作の確認」中の「メモリーを切り換える」をご覧ください。

## スピーカークレードルを使う

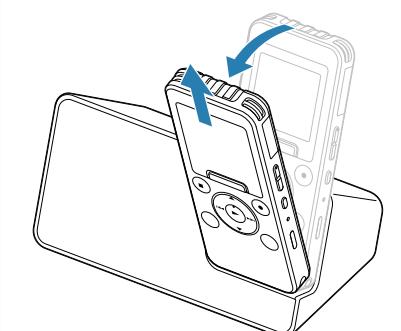
付属のスピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーをセットすると、ラジオ放送や音声ファイルをスピーカーから出することができます。スピーカークレードルからの音量は、ポータブルラジオレコーダーをスピーカークレードルにセットした状態で調節することができます。この時の音量は、ポータブルラジオレコーダーのみで設定した音量とは異なります。

**ご注意**  
ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子が、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかり接続するように設置してください。

**ヒント**  
スピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーを載せておくと、電源オフ時は現在時刻を表示します。

## スピーカークレードルから取りはずすには

ポータブルラジオレコーダーを手前に傾けるようにして取りはずしてください。



地下では電波が届かない

## ラジオをクリアに受信するにはアンテナが大切！

●ポータブルラジオレコーダーを持ち歩きながら使うときは

FMラジオ受信時：  
付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、ヘッドホンジャックにつなぎ、できるだけ長く伸ばしてお使いください。

AMラジオ受信時：  
アンテナが内蔵されているので、ポータブルラジオレコーダーの向きによって受信状態が変わります。ポータブルラジオレコーダーをもともとよく受信できる向きにしてお聞きください。

●スピーカークレードルに載せて使うときは

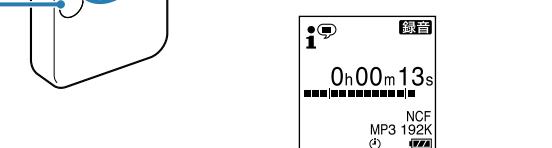
FMラジオ受信時：  
スピーカークレードルに接続した付属のFMラジオ用アンテナケーブルを長く伸ばし、FM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。

AMラジオ受信時：  
スピーカークレードルに接続した付属のAMラジオ用ループアンテナを、もともとよく受信できる向きにし、AM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。

## ポータブルラジオレコーダーを使う

## マイク録音する

- ① ホームメニューで◀または▶を押してマイク録音を選択し、再生/決定ボタンを押す。
- ② 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。
- ③ 録音/一時停止ボタンを押す。  
録音が表示されて録音が始まり、録／再ランプが赤く点灯します。
- ④ 録音を止めるには、停止ボタンを押す。
- ⑤ 接続先の再生ボタンを押す。
- ⑥ 録音を停止するには、ポータブルラジオレコーダーの停止ボタンを押す。



- ④ 録音を止めるには、停止ボタンを押す。  
「しばらくお待ちください」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に再生ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

## 再生する

- ① ホームメニューで◀または▶を押して録音したファイルを選択し、再生/決定ボタンを押す。
- ② ▲または▼を押してフォルダを選び、再生/決定ボタンを押す。
- ③ ▲または▼を押してファイルを選び、再生/決定ボタンを押す。  
録音が表示されて再生が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。
- ④ 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。
- ⑤ 再生を止めるには、停止ボタンを押す。



- ④ 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。

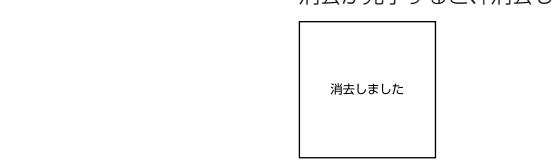
- ⑤ 再生を止めるには、停止ボタンを押す。

## ファイルを消去する

- ご注意**  
一度消去したファイルは元に戻せません。
- ① ホームメニューで「(パッドキャスト)」、「(ミュージック)」、「(録音したファイル)」のいずれかを選び、再生/決定ボタンを押す。
  - ② ▲または▼を押して、消去したいファイルの入っているフォルダを選び、再生/決定ボタンを押す。
  - ③ ▲または▼を押して、消去したいファイルを選び。
  - ④ オプションボタンを押してメニューを表示し、▲または▼で「[1]ファイル消去」を選び、再生/決定ボタンを押す。  
「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。
  - ⑤ ▲または▼で「[はい]」を選び、再生/決定ボタンを押す。  
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。



- ⑤ ▲または▼で「[はい]」を選び、再生/決定ボタンを押す。  
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。



## 他の機器の音声を録音する

- ① ホームメニューで◀または▶を押してマイク録音を選択し、外部入力選択画面が表示されます。
- ② ▲または▼でオーディオ入力を選び、再生/決定ボタンを押す。
- ③ シンクロ録音機能を使って録音するかどうかを選ぶ。  
\*シンクロ録音は、2秒以上の無音で録音を一時停止し、音の再開に合わせて新しいファイルとして録音する機能です。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- ④ 録音/一時停止ボタンを押す。
- ⑤ 接続先の再生ボタンを押す。
- ⑥ 録音を停止するには、ポータブルラジオレコーダーの停止ボタンを押す。



- ヒント**
- ・シンクロ録音機能を使わずに録音するには、手順③で「いいえ」を選んでください。
  - ・入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、他の機器の音量を調節してください。

## 上手に録音、再生するために

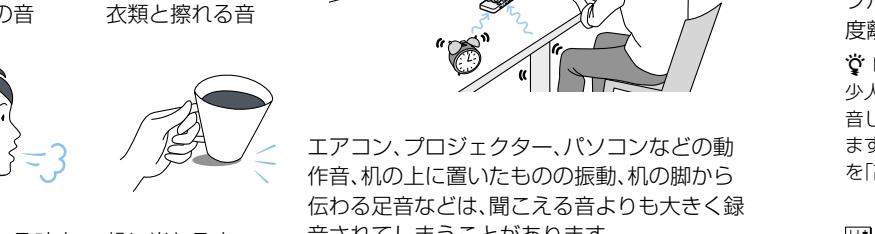
## ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているかどうか。録音環境は人によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

## ノイズとして録音される可能性のある音について

## ノイズの原因となる音は

ポータブルラジオレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあります。録音されるノイズには以下のものがあります。

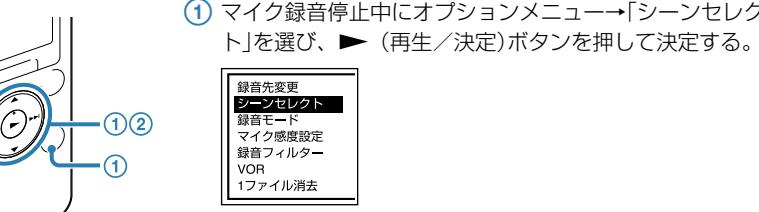


## 録音されるノイズを軽減するには

- ・録音中に本体に触ると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ・ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- ・状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおおすすめします。
- ・状況に応じた「マイク感度設定」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度を下げてみてください。
- ・録音シーンに合わせて「シーンセレクト」を選ぶと録音モードやマイク感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめ設定に切り換えることができます。

## 用途に合わせた録音シーンを選ぶ(マイク録音)

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめ設定に切り換えることができます。「Myシーン1」「Myシーン2」には好みの設定を保存できます。



① マイク録音停止中にオプションメニュー→シーンセレクトを選択し、再生/決定ボタンを押して決定する。  
② ▲または▼で好みのシーンを選択し、再生/決定ボタンを押す。設定したシーンは録音画面に表示されます。

**おまかせボイス**  
入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。  
感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。  
\*お買い上げ時の設定は「おまかせボイス」です。

**ご注意**  
「おまかせボイス」は人の声(音声)に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突然的な大きな音が入力された場合は、音がひびくことがあります。

**会議**  
広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。  
ハンガーナなどの上にポータブルラジオレコーダーを載せてことで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。  
発表者に近い場所で録音してください。

**講演**  
講演会や講義を録音するときに適しています。  
マイクを音源の方に向けて録音します。別売の指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。

**ボイスメモ**  
マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。  
録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。

**インタビュー**  
インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1m～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。  
マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。

**歌・音楽**  
大人数での合唱練習やカラオケなど比較的大きな音を2m～3mくらいの距離で録音するときに適しています。  
ポータブルラジオレコーダーをピアノの上に載せて録音すると、ピアノを弾くときの振動音と一緒に録音されてしまいます。ポータブルラジオレコーダーをピアノから1m程度離して録音してください。

**ヒント**  
少人数でのカラオケや音量が小さい楽器の音を録音した場合、録音された音声が小さくなることがあります。その場合は、Myシーンで「マイク感度設定」を「高(音楽)」に変更してご利用ください。

**Myシーン1、Myシーン2**  
録音モード、内蔵マイク感度などを好みに合わせて編集できます。  
詳しくは取扱説明書「Myシーンの設定項目をお好みに編集する」をご覧ください。

**オフ**  
シーンセレクト機能を働きやすく録音します。